# マッチング事例3（副産物の有価売却・リサイクル）

ミユキ化成株式会社（排出事業者）⇔株式会社興和商会（リサイクラー）

○リサイクルを検討することになったきっかけ

・成形時に発生する副産物（ランナー・ガラス繊維15%含有ナイロン樹脂）を粉砕し、自社で再生材として利用しているが、利用しきれず残ってしまう。

→埋立処分していた産廃のリサイクルの検討、有価での買取業者の探索

再生材として自社利用

利用しきれない粉砕材

＜従来＞
別の産廃とまとめて埋立

処理業者

＜従来＞

＜マッチング後＞

株式会社 興和商会

回収→粉砕加工してリサイクル原料として販売

＜マッチング後＞
利用しきれず埋立処分していた
粉砕材を売却・リサイクル

＜効果＞
廃棄物処理費の削減

○今後の予定

・パージダンゴや規格外品等の粉砕材以外の産廃についてもリサイクルを進める